

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	事業所独自の避難訓練を実施しているが、事業所だけの対応では限界がある。	災害対策マニュアルに基づき、消防署や地域住民の参加および協力体制を構築する。	・避難訓練の指導や講習等を通し、消防署との関係を構築する。 ・施設の避難訓練の際、自治会、近隣の方にも呼びかけ、参加をお願いする。	12ヶ月
2	1	事業所の理念は事務所と会議室に掲示しているが、内容が複雑で職員間で共有し辛い。	職員間で理念を共有しやすい内容にし、入居者のよりよい暮らしを支援していけるようにする。	・グループホームの理念を分かり易い言葉で再設定し、管理者と職員が常に共有できるようにする。 ・訪れた方にも分かるよう、玄関等、事務所、会議室以外にも掲示する。	6ヶ月
3	2	法人の季刊だよりの配布は、入居者ご本人やそのご家族のみである。施設のPRに活用できないか。	地域に根ざした施設作りを目指す。	・民生委員など地域の方にも配布し、どのような暮らしをされているのかを知って頂き、施設のPRにつなげていく。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。